



令和 5 年 1 月 第 8 3 号

発行

とびうめクラブ福岡
(公益社団法人 福岡県老人クラブ連合会)

〒816-0804 春日市原町 3-1-7
クローバープラザ内
TEL (092) 582-9860
FAX (092) 582-9870



新春のおもろこびを
申しあげます

令和五年 元旦

目次

年頭のあいさつ	会長 坂元 博	— 2
新年のあいさつ	知事 服部 誠太郎	— 3
令和四年度主な行事		4 ~ 8
注意!! ニセ電話詐欺の手口!!		9 ~ 10
地区からの発信		11 ~ 16
福岡地区	【糸島市シニアクラブ連合会】	
北筑後地区	【八女市シニアクラブ連合会】	
南筑後地区	【みやま市老人クラブ連合会】	

筑豊地区	【嘉麻市老人クラブ連合会】	
京築地区	【上毛町老人クラブ連合会】	
会員増強・復活クラブ紹介		17 ~ 20
表彰 (知事表彰・知事感謝状・県老連会長表彰)		20 ~ 22
令和 4 年度		
「福岡県老人クラブ会員増強運動」表彰		23 ~ 24
2022 年度 福岡県老連指定旅館		25 ~ 27
傷害保険・賠償責任保険で安心補償		28

この機関誌は、共同募金の配分金により発行されたものです。





年頭のあいさつ

公益社団法人
福岡県老人クラブ連合会
会長 坂元 博



新年あけまして

おめでとございませす

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和五年元旦

皆様方には、日頃から福岡県老人クラブ連合会の諸事業の推

進について格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が昨年も続いた結果、

福岡コロナ警報や福岡コロナ特別警報の発動や解除が繰り返

行われるなど、私たちの生活や社会・経済に大きな影響を与

えました。しかし、感染防止対策を図り

ながら社会経済活動も図って

くところの、いわゆるウイズコロナの考えが進み、観光支援策

である全国旅行支援や水際対策の緩和なども相まって、社会全

体が活動を再開している状況になって

います。このため、県老連でも、今年度に予定して

老連の会長や新任会長、さら

に単位クラブの新任会長などを対象とした各種研修会や会議、

グラウンドゴルフなどのスポーツ大会について、マスク着用の

徹底など感染対策を行いながら、参加者数の制限を行わずに実施

することができました。さて、県老連は、昨年創立六十周年を迎

えました。これまでの、豊かな老後を過ごすために、知識や経験を活かし、諸団体と連

携して、健康・生きがいづくりや地域を豊かにする活動に取り

組んできました。これからさらに進展する少子高齢社会の中で、

地域を基盤とし、仲間づくりや様々な地域貢献活動に取り組ん

でいる老人クラブの衰退は、地域社会の活力の減退につながる

こととなります。このため、活力ある地域社会を次世代へと継

承していくことは老人クラブに寄せられている最重要課題であ

ると言えます。

毎年、クラブ数・会員数が減

少している現状に歯止めをかけ、十年先、二十年先まで見据えた

老人クラブが存続していくためには、今、県老連、市町村老連、

単位クラブが一丸となって、「魅力あるクラブづくり」をすすめ、

この課題に向き合わなければなりません。

基本的に六十歳以上が対象と

はいえ、後期高齢者の会になりつつある老人クラブが輝きを取

り戻すためには、老人クラブ会員の六割近くを占める女性会

員や、七十五歳以下の若手会員の力を活用することが大きな柱の

一つではないかと考えております。

女性会員には女性ならではの視点やきめ細やかさがあり、高

齢者相互支援活動や社会奉仕活動、さらには取り組みが増えて

きているサロン活動などで多に活躍されています。また、女性同士の繋がりの広さも老人クラブ活動において大きな強みと

なります。このような取り組みにより、楽しくやりがいのある活動がもっと広がれば、人が人を呼び、新しい会員の加入に繋がっていくと思います。

また、より柔軟な発想力をもっているであろう若手会員の発想を活かすことで、老人クラブに入ってみたいと思えるような魅力のある新しい活動が生まれていけば、若い世代の加入に繋がるのではと考えております。

このため、今後は、女性委員会に加え、若手会員の方々の力を反映させることができるような場の構築等についても検討していく必要があると考えております。

これらの取り組みを通じて、今後も皆さんと手を携え、豊かな長寿社会をつくるために様々な事業を検討し、魅力ある老人クラブづくりに邁進したいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、新しい年が皆さんにとって素晴らしい一年となりますように心から祈り申し上げます、年頭のご挨拶とします。

新年のあいさつ

福岡県知事 服部 誠太郎



明けまして

おめでとうございます。

県民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染防止対策と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの歩みを進めてまいりました。

福岡県老人クラブ連合会の皆さまにおかれましては、コロナ

禍にあっても、感染防止対策を講じながら、健康づくり活動やひとり暮らしの高齢者への友愛訪問、子どもの見守り活動など地域に根差した活動に取り組み、地域福祉の発展に大きく貢献いただいております。

坂元会長をはじめ役員の方々と、会員の皆さまの熱意とご努力に対し深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

県内各地域では、世代間交流の希薄化や地域コミュニティの弱体化などにより、地域の持つていた助け合い、支え合う機能が低下しています。このような中、皆さまには、地域住民同士の交流や援助を必要とする人々への支援など、地域社会を支える役割が期待されているところですので。長い間、地域を見守り続けてこられた皆さまの更なるご活躍を期待申し上げます。

県では高齢者の皆さまが生き生きと活躍できる社会づくりを

目指し、昨年四月に「福岡県七十歳現役応援センター」を「福岡県生涯現役チャレンジセンター」と改め、元気で意欲ある高齢者の皆さまに企業や地域でご活躍いただけるよう、引き続き、就業や社会参加を支援しています。

また、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の構築についても、市町村と連携して取り組んでまいります。

今後も本連合会の皆さまと手を携えて、誰もが住み慣れたところで元気に暮らすことのできる社会の実現を目指してまいりますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、年頭のあいさついたします。

令和四年度

主な行事

全国老人クラブ連合会

創立六十周年記念

全国老人クラブ大会

令和四年十一月八日(火)に東京都墨田区(国技館)を会場として創立六十周年記念全国老人クラブ大会が開催されました。

ここでは、本県の厚生労働大臣表彰者、全国老人クラブ連合会会長表彰者及び大会宣言を掲載しています。

厚生労働大臣表彰

▼育成功労者表彰(全国一〇四名)

福岡県老人クラブ連合会

会長 坂元 博

福岡県老人クラブ連合会

理事 安部 一正

▼優良単位クラブ表彰

(全国四十八団体)

◆鍾水クラブ

会長 穴見 利光

【結成年月日】

昭和四十一年四月一日

○会員数 一四三名

【活動概要】

公園清掃、通いの場(地域の交流施設)の清掃などの社会奉仕活動や、会員同士の交流を深めるカラオケ大会、グラウンドゴルフ大会の実施を積極的に行っており、会員数の減少も見られず、地域に根ざした単位老人クラブである。

全老連会長表彰

▼育成功労表彰(全国一一九名)

前 田川市老人クラブ連合会

会長 堀江 一夫

前 柳川市老人クラブ連合会

会長 松岡 義一

元 遠賀町老人クラブ連合会

会長 重廣 強

▼優良老人クラブ表彰

(全国五十九団体)

横馬場クラブ

会長 吉田 征義

【結成年月日】

昭和四十三年四月一日

○会員数 一二三名

【活動概要】

校区老連と密に連携を図りながら、会員の垣根を越え、地域住民、子供たちとも積極的に関わるとともに、地域とも連携を図りながら支え合い活動等を行っている。このため、久留米市老人クラブ連合会においても会員減少に歯止めがかからない中であって、当クラブは平成二十七年から八年連続、計七十一名の会員数が増加している。

▼優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰

(全国四十六団体)

◆福津市シニアクラブ連合会

会長 岡本 頴和

【結成年月日】

平成十七年四月一日

○会員数 一、六七九名

○加入クラブ数 三十六クラブ

【活動概要】

グラウンドゴルフやスカットボールの大会を行い、新しく健康教室

(海岸・松林ウォーク、太極拳体験教室)を開設する等、会員の健康づくりに優先的に取り組んでいる。また、社会福祉協議会の車を借りて買い物等の送迎を行う「お助け隊」について、七クラブが登録し、ボランティア活動を行っている。さらに、市や社協、民生委員児童委員協議会も加えて「会員増強推進委員会」を立ち上げ、会員の増加だけでなくクラブの新設や復活などにも取り組んでいる。

◆うきは市老人クラブ連合会

会長 坂本 丈祐

【結成年月日】

平成十七年三月二十日

○会員数 三、七七三名

○加入クラブ数 七十二クラブ

【活動概要】

当連合会は、単位クラブによる各地域での奉仕活動、会員相互・児童の下校時見守り活動などの友愛活動を支援するために、単位クラブ相互の連携・協調体制づくりを行うとともに、地域高齢者の総合的な福祉の向上をめざした様々な取り組みを展開している。

大会宣言

老人クラブの発展向上と高齢者保健福祉の増進に寄与することを目的に結成された全国老人クラブ連合会は、創立六十周年の記念の年を迎えました。

戦後の混乱と激動の世相のなかであって、高齢期の幸せは高齢者自身の手で創り出そうを合言葉に誕生した、私たち老人クラブは、会員の意欲と行動、住民の励ましと協力、国や地方自治体の理解と支援のもと、全国にネットワークを有する高齢者組織に至るまで発展してきました。

この間、老人クラブでは、同世代の人々に参加を呼びかけながら、「健康づくり」「支え合いづくり」「生きがいづくり」「地域づくり」をめざして、多彩な活動を展開するとともに、年金、保健、医療、介護、福祉など、高齢者を支える制度や施策の充実発展に向けた取り組みを進めてきました。

少子高齢化と人口減少が進行していくなかで、わが国の活力を維

持し、すべての世代が輝ける地域共生社会を築きあげていくためには、私たち高齢者もその一翼を担っていかねばなりません。

よって、本日ここに集う全国の老人クラブ代表者は、これまでの先人たちの歩みに思いを寄せ、新たな一歩を踏み出すことを誓い、次の取り組みを実践していくことを宣言します。

一、健康長寿をめざす「健康活動」の推進

一、暮らしを見守る「支え合い活動」の展開

一、高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実

一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進

一、高齢者の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

令和四年十一月八日

全国老人クラブ連合会

創立六十周年記念

全国老人クラブ大会

市町村老連会長会議

令和四年九月十三日(火)にクロトーバープラザ(春日市)において市町村老連会長会議が開催され、五十名が参加しました。

会長会議に先立って、全老連「活動賞」の伝達式が行われました。

○活動賞受賞者

●宗像市 稲元シニアクラブ

(仲間づくり活動)

●宮若市 百合野平成会

(健康づくり活動)

●須恵町 須恵町シニアクラブ連

合会 (ボランティア活動)

●八女市 北山地区老人クラブ連

合会(その他の活動(世代間交流活動))

○講演

○講演

「高齢者の交通事故防止」

○講師 春日警察署交通一課交通

総務係

巡查長 柳瀬 春美 氏

○県老連からの報告・意見交換等
県老連事務局から本年度事業実施状況及び今後の事業予定、老人クラブ育成成功労者等厚生労働大臣表彰受賞者、全老連会長表彰受賞者、県老連創立六十周年記念会長特別表彰受賞者、県老連会長表彰受賞者及び会員増強運動会長表彰団体等についての説明・報告が行われました。



市町村老人クラブ連合会 会長研修会

令和四年十二月十五日(木)にクローバープラザ(春日市)において市町村老人クラブ連合会会長研修会が開催され、五十一名の会長が参加されました。講演と、会員増強に取り組んでいる老人クラブの事例発表を四団体がいい、その後県老連事務局からの報告や意見交換会を行いました。



○講演

「健康寿命延伸の為の身体活動について」

○講師

NPO法人北九州スポーツクラブ
連絡会

会長 高橋 八十弥氏

市町村老人クラブ連合会 新任会長研修会

令和四年六月十日(金)にクローバープラザ(春日市)において市町村老人クラブ連合会新任会長研修会が開催され、新任会長十一名が参加されました。県老連の飯田事務局長が老人クラブの活動・現状等について説明を行った後、参加者全員による意見交換を行いました。



単位老人クラブ新任会長 研修会

令和四年六月七日(火)から七月十三日(水)にわたって、県内五地区(福岡・北筑後・南筑後・筑豊・京築)で単位老人クラブ新任会長研修会が開催され、福岡県高齢者地域包括ケア推進課職員による「高齢者の福祉について」の講演及び県老連事務局長から「老人クラブの現状・課題等」について説明を行いました。午後は、市町村老連

からの事例発表がありました。

○地区別参加者

- 福岡 百十七名
- 北筑後 百二十九名
- 南筑後 五十八名
- 筑豊 六十八名
- 京築 八十五名



高年齢者相互支援リーダー研修会

令和四年十月十八日(火)から十一月二十九日(火)にわたって県内五地区で高年齢者相互支援リーダー研修会が開催されました。福岡県高年齢者地域包括ケア推進課職員による「高年齢者の福祉について」の講演、県老連事務局より「高年齢者相互支援活動について」の説明の後、相互支援リーダーによる事例発表がありました。



○地区別参加者

- 福岡 百五名
- 北筑後 百二名
- 南筑後 五十六名
- 筑豊 八十四名
- 京築 八十八名

女性リーダー研修会

令和四年十月十四日(金)に、クローバープラザ(春日市)において女性リーダー研修会が開催されました。二百二十九名が参加し、講演や女性リーダーによる事例発表などがありました。

○講演

「認知症予防に役立つ生活の知恵」

○講師

- NPO法人 健康サロン理事 医療法人 心信会 池田バスキュラーアセス透析内科 看護部長 水内 恵子氏



「健康をすすめる運動」推進研修会

令和四年十二月九日(金)クローバープラザ(春日市)において百四十三名が参加して行われました。

○講演

①「ニセ電話詐欺根絶について」

○講師

- 福岡県警察本部生活安全部生活安全総務課犯罪抑止対策室 地域安全対策係長

警部補 加藤 智士氏
②「自分らしく暮らし続けるために」
病気になるらない生活法

○講師

- 公益社団法人 福岡県介護福祉士会 副会長 小島 香代子氏



体力測定講習会

令和四年九月三十日(金)久留米総合スポーツセンターにおいて県老連主催の体力測定講習会が開催され、各市町村老連から六十九名が参加しました。

○講義

・「高齢期の運動による健康づくり」

・仲間と楽しく集える日まで、コロナに負けず、今日も元気に体操しましょう！

・「いきいきクラブ体操をマスターしよう」

・「高齢者向け体力測定」安全に実施し、普及するために体力測定の説明

○講師 順天堂大学名誉教授

武井 正子氏

「いきいきクラブ体操講習」と「体力測定実技」が武井先生指導のもと、全老連の研修会・セミナー修了者等十三名のスタッフの協力によって行われました。



三大スポーツ大会

福岡県老人クラブ連合会主催によるスポーツ大会が、開催地の老人クラブの協力のもと、盛大に実施されました。

○グラウンド・ゴルフ大会

令和四年九月十五日(木)

(岡垣町「町民総合グラウンド」)

- ・参加者 二百三十六名
- ・優勝 中嶋 勝己(嘉麻市)

- ・準優勝 片江 秀雄(古賀市)
- ・第三位 福田 晴子(築上町)

○ペタンク大会

令和四年十月五日(水)

(小郡市大崎「たなばた地域運動広場」)

- ・参加者 四十チーム
- ・優勝 宇野垂水Cチーム (上毛町)
- ・準優勝 前牟田東Aチーム (大木町)
- ・第三位 馬場Aチーム (苅田町)
- ・第三位 宇野垂水Aチーム (上毛町)

○ゲートボール大会

令和四年十月二十七日(木)

(春日市総合スポーツセンターグラウンド)

- ・参加者 二十チーム
- ・優勝 クラブ勝山チーム (みやこ町)
- ・準優勝 若葉会チーム (古賀市)
- ・第三位 庄内Bチーム (飯塚市)



▲ ゲートボール大会



▲ ペタンク大会



▲ グラウンドゴルフ大会

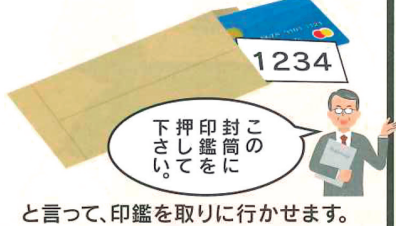
注意!! ニセ電話詐欺の手口!!

キャッシュカード詐欺盗 (キャッシュカードをすり替える手口)

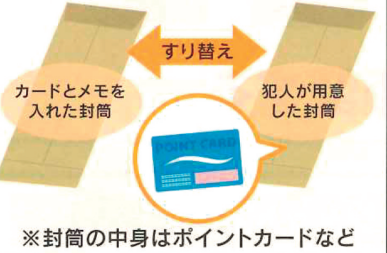
ある日、自宅に銀行協会から電話が...



二セの「銀行協会職員」が訪問し、キャッシュカードとメモを持ってきた封筒へ入れます。



印鑑を取りに行っている際に用意していた封筒とすり替えます。



すり替えた封筒に印鑑を押しつけて封印します。



預貯金詐欺

(キャッシュカードを受け取る手口)

ある日、自宅に警察から電話が...



二セの「警察官」が訪問してきます。



目の前でキャッシュカードにハサミで切り込みを入れます。



架空料金請求詐欺

ある日、携帯電話に知らないメールが...



メールに書かれた連絡先に電話をしてみると...



相手は電話で電子マネーカードを買いに行くよう指示します。



電話でお金はすべて詐欺! キャッシュカードを渡さない! 暗証番号を教えない!

オレオレ詐欺

親族等を装って、示談金等を名目に金銭をだまし取る。

お母さん。
会社のお金で株に失敗した。
このことは誰にも言わないで。
〇〇万円用意して。



還付金詐欺

還付等に必要な手続きを装って、ATMを操作させ、口座に送金させる。

市役所の職員です。
保険料の還付があります。
今日中に手続きが必要。
言うとおりにATMを
操作して下さい。



サポート詐欺

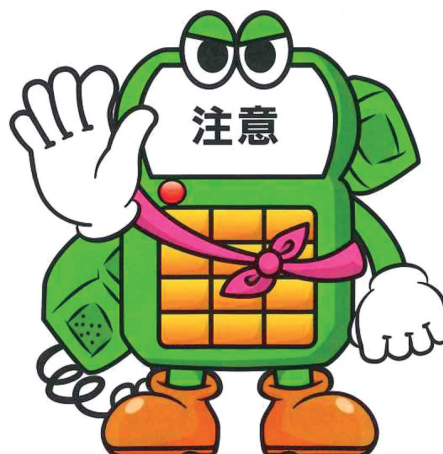
パソコン等の画面に「ウイルスに感染した」との二セの警告を表示させ、対策ソフトやサポート費用を電子マネーで支払わせる。

ウイルスに感染しています。
至急、この電話番号に
連絡して下さい。
〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇



被害にあわないための対策

- キャッシュカードや通帳を渡さない。
- 暗証番号を教えない。
- 公的機関の職員を名乗ったら、部署や氏名を確認する。
- 身に覚えのない請求には応じない。
- メールやパソコンに表示された連絡先に電話しない。



一人で判断せず、必ず誰かに相談する。

犯人と話さない! まっ太フォンで二セ電話詐欺をシャットアウト!

まっ太フォンの4大機能

着信拒否

登録した迷惑電話番号を着信拒否します。

事前警告

通話相手に会話の内容を録音することを事前に警告します。



※まっ太フォンとは、二セ電話詐欺被害防止機能のついた電話機の総称です。

いざという時のために、通話を開始すると自動で録音します。

自動録音

電話の受け手に迷惑電話に対する注意を喚起します。

注意喚起

※まっ太フォンは家電販売店で購入できます。

二セ電話詐欺の被害額は1件あたり平均240万円です。(令和元年中の平均額)
「まっ太フォン」で大切な財産を守りましょう!

☆留守番電話設定も有効です☆

普段から留守番電話に設定し、かけてきた相手を確認してから電話に出しましょう

地区からの発信

福岡地区

単位クラブ（篠原三区シニアクラブ）の活動について



糸島市シニアクラブ連合会会長
前原南区シニア連合会会長
篠原三区シニアクラブ会長
(ひまわりの会)
里村 廣志

私が所属している篠原三区シニアクラブは、今巷で評判の住んでみたい街一番の糸島市の玄関口、JR筑前前原駅から十分ほどの地域の単位クラブです。糸島市全体の会員が約五千人、南校区の会員が三百七十人（六単位クラブ）の中の会員数七十二名の単位クラブです。

今回は、私たちが取り組んでいる活動を紹介します。

一、奉仕活動について

① 公園の清掃

毎月八のつく日（八、十八、二十八日）に近くの篠原公園の清掃を行っています。午前八時に集合して（あくまで都合のつく人で、強制ではない）草をとったり、帚できれいに掃きます。

雨天の時も集まります。それは、掃除だけが目的ではなく、会員の安否確認も兼ねているからです。清潔で安全な公園だと、いつもちびっこ連れのお母さんたちから喜ばれています。

今年はこの名称にちなんで、ひまわりの種をまきましたが、気候のせい、あまりきれいに育ちませんでした。

② 資源回収

コミニティーセンターの資源倉庫に持ち込まれた資源（新聞・雑誌・段ボール・空き缶など）が満

杯になると、それらをきちんと整理して回収業者に渡す作業を私たちのクラブで担っています。（市より些少の補助金をもらっています。）毎月三回ほどの頻度で作業を行っています。

そして、資源回収終了後は、ペタンク大会を実施しています。賞品もあるので、大変盛り上がりがあります。

③ 地域の小学校との交流

六年ほど前に、糸島市シニア連と糸島市教育委員会で協議をして、小学生との交流が始まりました。それ以来、毎年一、二年生と一緒に、なつて次のような交流を行っています。

ア 一年生には、一月に昔あそびの伝承を行っています。
（おはじき・あやとり・メンコ・竹馬など）
それが児童の皆さんにとっては、とても珍しいようでも喜んでくれています。また、私たちのことを昔遊び名人と呼んで、登下校

の時にも、よく挨拶をしてくれます。

イ 二年生には、春野菜と秋野菜の植え付けを指導しています。児童からは、野菜名人と呼ばれています。

ウ 下校時の見守りも私たちが行っており、子供たちや親御さんたちからも感謝されています。

二、健康づくり活動

① グラウンドゴルフ

毎週水曜日の午前九時から近くの浸水公園にて、グラウンドゴルフ大会を実施しています。ホールインワン賞と優勝、二位、三位の人はティッシュが貰えますので、みんな一生懸命プレイします。集中力も高まるので、心身の健康に役立っています。

② ゲートボール

毎週月、木、土の三回実施しています。また、時々、遠征して他の校区のチームとの交流試合もして、腕を磨いています。

三、広報活動

① 広報紙「ひまわり」の発行

広報委員四名で、毎年四回、季刊紙（春・夏・秋・冬）を発行しています。これは、会員に配布するだけではなく、新会員勧誘のためや私たちのシニアクラブを周知、理解してもらうため、コミュニケーションセンターや市社協など、あらゆる方面に配布してPRに使っています。

内容は、行事の紹介、暮らしの情報、会員インタビュー、趣味に生きる人の紹介など多岐にわたります。

また、行事計画表は二か月分を一枚にまとめて発行しています。

四、行事

① 新年会、春の会、秋の会の実施

いずれもバスハイクで観光めぐりのあと、料亭で懇親会を開催しています。ちなみに今までは、九州大学めぐりや桜井神社拝観などを行いました。コロナ感染拡大

防止のため、昨年と今年は行政区内のゲートボール場で青空懇親会をしました。

以上篠原三区シニアクラブの活動について述べてきましたが、おかげ様で当クラブでは、毎年会員が減ることなく、三パーセント以上増えてきている状況です。

今後も健康年齢の先に、貢献年齢を引き上げて地域社会の尊敬を集められるように楽しく活動できたらと思っています。

北筑後地区

三大スポーツを通じた健康づくりの取り組み



八女市シニアクラブ連合会
八女支部
支部長 丸林 憲弘

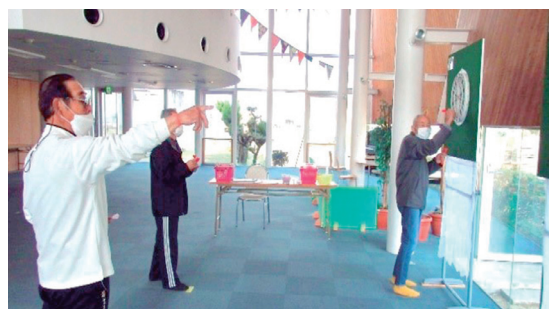
八女支部では、グラウンドゴルフ、ペタンク、ダーツを三大スポー

ツと位置づけ、それぞれの大会開催を目標に健康づくりに日々取り組んでいます。日頃の取り組みの成果を発表する場として、日々の運動の定着、習慣化を図ることを目的としています。とくにダーツは、ゲートボールに代わるスポーツとして平

成二十九年から位置づけ、本年度初めて大会開催が計画され、八女支部三大スポーツ大会がようやく実施できるようになりました。以下、三大大会の取り組みを述べます。

一、グラウンドゴルフ大会

八女支部で最も競技人口が多く、今年度は第三十五回大会でした。昨年度からコロナ禍の中、参加者の人数制限や感染対策を徹底しながら小規模で開催し、密を避けるために二部制を取り入れました。コロナ禍の中での開催だったので、



事前に役割分担などの打ち合わせを綿密に行い、大会に備えました。当日は久々に仲間に加え、運動できる喜びに、終始、笑顔あふれる楽しい大会となりました。

二、ペタンク大会

ルールが簡単で、誰でもすぐに競技を始めることができ、気軽に楽しむことができるスポーツです。昨年の大会では秋晴れの下、チーム一丸となってさわやかな汗を流しました。

結果は初心者が多いチームが優

勝利県大会出場の資格を得て、本年度は各チームの練習にも一層熱が入ったようです。

三、ダーツ大会

三大スポーツとして位置づけられたダーツは、役員研修会などで実技講習会を重ねてきました。また、コロナ禍の中でも各単位クラブごとに室内でできるスポーツとして奨励し、ダーツ用具の購入を呼び掛けてきました。

さらに、今年度は代表理事の発案により、月一回『ダーツ教室』が開催され、数を重ねるごとに参加者が増えています。単位クラブでダーツ部の発足も見られ、今年度の大会開催が楽しみです。

以上の三大スポーツ大会を基盤として、各単位クラブでは、日々集い、練習を重ね、健康で楽しい日々を過ごしています。

コロナはまだ終息していませんが、今、できることは何かを皆で知恵を出し合いながら活動していきます。心身ともに動かす『健康』、

お互いに声をかけあう思いやりの『友愛』、地域に貢献する『奉仕』により、会員一人ひとりが健全に過ごすことが八女支部の目的です。今後もコロナに負けず、八女支部の活動を盛り上げていきたいと思っています。

南筑後地区

研修会への参加や老人クラブの役員就任などを通じて得ることができた三つの成長



みやま市老人クラブ連合会
瀬高支部 支部長
幸若クラブ 会長
松尾 正幸

私は、令和三年度からみやま市老連瀬高支部長となつてから、研修会や様々な催しへの参加などを通じて貴重な知識（知恵）を習得できた結果、三つの成長ができたと思っています。

まず、第一の成長は、単位クラ

ブ新任会長研修会に参加したこと
で、老人クラブや会員数の減少に
ストップをかける秘策を常に考え
るようになったことです。具体的

には、**(a)** 新任会長になった時点か
ら、自分の後任について考えてお
く、**(b)** 老人クラブには、夫婦で加
入する雰囲気確立する、**(c)** 会長

自身が何もかもするのではなく、
会員の多くを動員し役割分担をす
る、という三つの秘策を担当講師
より教えてもらいました。新任会
長として二年目を迎え、三つの秘
策を胆に銘じ、日々研鑽に努めて
います。

第二の成長は、「ふくおか子育て
マイスター」(第一八二五号)の資
格を得た事で、高齢者として若い
人に子育てへの支援をしたいと考

えるようになったことです。この
資格は、少子化や核家族化の進行
などによって、子育ての相談をし
たり助けてもらえる相手が身近に
いないなど、子育てに孤立感や不
安感を抱く保護者が増えているこ
とから、豊かな知識や経験を持つ

高齢者に子育て支援分野でも活躍
してもらうことを目的として設け
られたものです。

私はその認定研修会に参加し全
過程を終了し、相談対応のノウハ
ウなど子育て支援者としての必要
な最新の知識を習得することがで
きました。老人になつても、子育

てや孫育てから逃れることはでき
ません。子育ての困難さに直面し
悩んでいる自分の息子や娘、大学
生になり悩み苦しんでいる孫たち
を前にして、豊かな知識や経験を
持つ高齢者の出番は必至であると
思うので、今後、得られた知識を
生かして支援できればと考えてい
ます。

第三の成長は、みやま市老連瀬

高支部の支部長や単位老人クラブ
である幸若クラブの会長となつて、
様々な老人クラブの催し等に参加
することで、老人会活動での「男
性対象料理教室」の大切さを自覚
するようになったことです。老人
会の「料理教室」は女性中心であ
り、男性の参加は非常に少なく、

別途に、「男性料理教室」の設置が必要であると思います。老人会員の中で、妻に先立たれた男性はかなりの割合に達すると思われま。彼らは、豊かな老後の食生活を楽しめているのだろうか。「男性料理教室」の特設と充実こそが、これらに対する有効な対策であると思われま。それ故、私は、瀬高支部長二年目の重点課題として、「男性料理教室」の開催と充実を担当女性部長に指示したのでした。

さて今回、自分自身が三つの知識を習得し成長したことで、改めて老人クラブが発展するために重要なことを言っておきたいと思われま。

まず、老人会活動が衰退しないために、次期会長を確保すること。そのためには、会長に就任した時から、後任の会長に誰を据えるかを考え、努力していかねばならぬことです。

次に、「魅力ある老人会」にすることであろうと思われま。老人会の会員達に、「老人会に加入すれば、

利益がある、得する」という実感を持たせる事が絶対に必要です。どんな利益か、どんな得かは決して一様ではなく、それぞれの会長、会員が創造していくよりほかはないでしょう。老人会に加入すれば、子育てや孫育てに有意義な相談に乗ってもらえる、男性料理教室に参加して、楽しい食生活が享受できるといふ点も、老人会の会員にとっては確実な魅力の一つであると思われま。

筑豊地区

密なる声かけ
つながる絆絶やさず



嘉麻市老人クラブ連合会
稲築支部
支部長 岡本 拓彦

一、稲築支部ができた経緯や支部内の連携活性化

一九六七年、合併する前の旧稲

築町に、二十七の単位老人クラブが集まって稲築老人クラブ連合会が発足しました。その後、二〇〇六年三月二十七日に一市三町（山田市・稲築町・碓井町・嘉穂町）が合併して嘉麻市となったことに伴い、各市町の連合会も統合して嘉麻市老人クラブ連合会となりました。そして、旧市・町ごとに支部を設けることになった結果、稲築老人クラブ連合会は嘉麻市老人クラブ連合会稲築支部となり現在に至っています。

クラブ数は、年と共に減少し、二〇二二年四月は、クラブ数七クラブとなってしまいましたが、同年六月から二クラブが新たに結成され加入することとなった結果、現在九クラブに増えています。

私たちの支部では、支部と各単位老人クラブが密な連絡を図るとともに会員相互の親睦も図ることをモットーとしており、双方が健康に発展していくことを願っているような活動を行っています。

二、運営方法

運営に関しては、それぞれの会則の元、実行しており地域の絆を強くするため、自治会と協力しながら、一般市民の方々にも声かけをして、共に活動しています。

三、支部の活動内容

① 毎月、役員会・地区会長会を実施し、県老連の活動・筑豊地区老連・市老連等の活動情報を各会長会に伝えています。会議後は皆さんと各地区の良かった事・地区の問題点等を出し合い、改善点を持ち帰り、この点についても検討しています。

② 社会奉仕の一環として、愛の声かけ・空き缶回収・路端の清掃（ゴミ拾い・除草作業）等を実施しています。

③ 三大スポーツである、ペタンク・グラウンドゴルフ・ゲートボールについては、毎月一回ずつ大会を開催しています。ペタンクは一チームに女性を必ず一人参加させることになっていま



四、その他（私が所属

する単位老人クラ

ブの活動について

私が所属する枝坂生
寿クラブでは、できる
だけ多くの会員が楽し
く活動できるように、
例会（カラオケなどの
催し）や・体を動かす
ことができる、ハンド
ボール、ペタンク・ボ

すが、女性の時代となったよう
で、むしろ女性の参加が多くなっ
ており、現在チームに男性は一
人みの状態です。

④ 三大スポーツの他に、新年会

三社参り・旅行等に力を入れて
います。コロナの影響で旅行は
中止していましたが、今年から
実行となりました。旅行は、高
齢者が多いため、参加しやすい
ように日帰り旅行にしたところ、
参加する人も増えて、みんな
懇親会など楽しい時間を過ごす
ことができるようになりました。

五、最後に

私は支部長としてクラブ減少を
懸念していますが、前記のとおり
2クラブが増えたことで、今では

楽しい支部となりました。これか
らは他の支部と連絡を密にして、
もっと市連合会全体が前に進むよ
う努力したいと思います。これか
らも会員の皆さんと共に、老人ク
ラブの発展を目指して頑張つて参
ります。

京築地区

住吉会の活動について



上毛町老人クラブ連合会
宇野東区老人クラブ(住吉会)
会長 上野晴生

上毛(こうげ)町は福岡県南東部
で大分県境を流れる山国川沿いに
あり、豊前市・吉富町に隣接し「九

州一輝く町」を目指す明るく自然
豊かな田園風景の広がる町です。
その中にある上毛町老人クラブ

連合会は、ペタンク部門において
県代表として実に五回連続で全国
大会に出場しており、とても自負
しているところです。

さて今回は、私が所属する、町
老連の中の一単位クラブである宇
野東区老人クラブ(住吉会)の活
動状況について報告します。

先人たちのためまぬ努力で脈々
と続いてきている住吉会も、一昨
年来のコロナ感染拡大の影響によ
り、年十回開催(原則八月と二月
は休会)としていた定期例会が一
部休会を余儀なくされました。し
かし、今年度は四月の総会から五
月、六月、七月、十月、十一月と
まずまず順調に開催することがで
きました。特例的な取り組みはあ
りませんが、具体的な活動内容に
ついて今年度の各月ごとの行事を
紹介しますので、私達の活動が少
しでもお役に立つようなことがあ
れば幸いです。

★四月例会(総会)

・R三年度事業報告・決算報告、
R四年度事業計画・予算及び新

役員承認

総会後にレクリエーションとして参加者全員で輪投げゲームを楽しみました。

★五月例会

・陽気に誘われて地域に咲く花を愛でながらの食事会（中津市内で食事会）

残念ながら今年は当日雨天に見舞われ花見は見送りでしたが、これまではアジサイやツツジ、フジ等、また新緑の木々に囲まれた屋外食事会もありました。

★六月例会

・町の駐在さんのお話
「ニセ電話詐欺について」、「高齢者の交通安全について」、「町内の事件」等、私達に直接関係ある事柄や関心のある出来事の紹介と予防法のお話しをきくことができました。

★七月例会

・例年、お盆を前に、僧侶を招きこの一年間に亡くなった住吉会会員の霊を供養する物故者法要を営んでいます。（ない場合は先

人達の御霊を弔う）

今年度は二名の故人の法要で参加した会員が手を合わせました。

★十月例会

（本来九月例会の予定なるも今年度はコロナの影響から十月に移行）

・体力測定を行った後に、健康維持に関係ある運動や講話をしてもらいました。

★十一月例会

・毎年「郷土史講話」を取り上げ、テーマを設けて実施しています。今年のテーマは「江戸時代後期の年中行事」でした。

★十二月例会

・毎年、忘年会例会として実施しています。
地区の公民館で昼食を兼ねて行い、余興としてカラオケや軽いゲームを楽しんでいます。

これからは今年度に予定されている例会を記載いたします。

◆一月例会

・新年を寿ぎ、毎年新年会（外食）を行っており、今年度も計画しています。

（長老による年初のご祝儀謡曲ご披露を楽しみにしています）

◆三月例会

・年度末に当たり本年度の反省会と地区消防本部よりの防災講習会を計画

※この他、今まで月例会で取り上げている活動では、
・日帰り旅行会（以前は一泊旅行を楽しんでいたが、高齢化に伴い最近は日帰りが多くなっている。今年度はコロナの影響から見送っている）
・弁護士を招いて困りごと相談。
・町老連行事としての春季・秋季 G・ゴルフ大会、ペタンク大会
参加は勿論、高齢者支援活動や女性部活動にも積極的に参加活

動しています。

今後の活動に対する問題点

・何と言っても会員の減少食い止め。入会勧誘しているが進まないこと。
・例会参加者の減少。参加者が段々と高齢化していること。

右記問題点については、多くの老人クラブが抱えていることだと思えますし、今後は地域ぐるみ、或いは行政ぐるみで真剣に取り組んでいかなければならないのではないかと思っています。やはり全国的に高齢化は進んでいる現状を考えれば、地域住民全体の課題として捉えるべきだと思います。



会員増強・復活クラブ紹介

令和四年度 福岡県老人クラブ会員増強運動の会長表彰・特別賞を受賞した団体の活動を紹介します。

楽しい老人活動と 会員募集



久留米市老人クラブ連合会
高良内校区老人クラブ連合会
下川原老人クラブ

会長 古賀 義治

はじめに
老人会の印刷物を目にすると必ず飛び込んでくる文字。それは「会員減少」。この文言を載せれば、会員が増えるのでしょうか？

あそこのクラブも減っているのだから、自分のクラブも減って当たり前前など、自然と頭の中

に擦り込まれてしまっているのではないのでしょうか。

会員増に悩んでいるのは、様々なボランティア活動をしている団体においても同様であり、会員募集の難しさは、永遠の課題と思います。

特に老人会においては、毎年どなたかが人生を卒業されます。会員が一人、また一人と必ず退会していきます。減っていくのは万物の法則。誰も止めることは出来ません。だからこそ、常日頃から会員募集に頭を働かさなければなりません。しかし、楽しくなければ入会者は一人も増えません。何だかんだと悩み、待っていても仲間は集まりません。楽しさを見せること（PR）につきます。

I 下川原クラブ単独の活動

① 毎週

ア、おしゃべりカラオケ

イ、カラオケナレーション作成

② 毎月一回

ア、自治区の公民館清掃

イ、自治区内二か所の公園清掃

ウ、おしゃべり脳トレ

：人との触れ合いの大切さ、おしゃべりの大事さに重点

③ 年一回

環境問題研修会を開催

：「ゴミ分別」について久留米市環境部より講話

④ その都度

社会奉仕活動の一環として、各人が計画して都合の良い日に自宅から一歩踏み出して、近所のごみ拾いを実施。すると、行きかう人と挨拶を交わすことが出来ます。会話はストレス解消に繋がり、更に老人会のPRが出来ます。

活動参加賞として、全会員に市指定のゴミ袋を配布します(五月と九月の年二回)。年会費千円の中からの参加賞ですから、大変喜ばれています。

以上のような活動をクラブ単

独で取り組み、会員募集に励んでいます。

「バス旅行」「誕生会会食」などの飲食を伴う懇親会は行わず「社会奉仕活動」に重点を置いています。

II 校区老人クラブ連合会活動 に積極的な参加

私の所属する高良内校区老人クラブ連合会は九つの単位老人クラブからなり、毎月『老人会だより』を発行、各クラブの催し情報を掲載、楽しい活動のPRに努めています。

その成果もあつてか、十年間一度も会員減になる事もなく現在に至っております。九クラブまとまったの活動は会員募集情報交換の場になっています。

私は、下川原クラブ会長の傍ら校区老人会副会長兼カラオケ同好会の責任者として会員募集に取組んでいます。カラオケ同好会は、当初三名でスタート。今年で八年目を迎え、現在は十三グループ約七十名の仲間が構成。月曜日から金曜日まで「午

前の部」「午後の部」に分かれ、毎月『わいわい』『ガヤガヤ』とおしゃべりを交え楽しんでいきます。

コロナ禍になる以前は、年四回の発表会を行い、老人会活動の楽しさのPRを行ってきました。そのせいかわかりませんが、老人会会員が一人、また一人と増えていきました。

次に、長期目標としての会員募集について紹介します。

それは、小学校PTA・子ども会・スポーツ少年団等の役員との情報交換です。『老人会だより』を機会ある毎に配布して老人会の楽しさをPRしています。何故と思われるかもしれませんが、それぞれの役員には家庭があり、祖父母がいます。何気ない会話の中で老人会の話が話題となり、老人会活動を覗いてみようか、また、PTAの役員の方々はまだお若いですが、将来自分が高齢者になったらこんな活動をやってみようと考え、時間を持つ事が出来ます。長い目で見れば、老人会の楽しさを「PR」。次の世代へ「より良い形で

引き継ぐ」事が出来ると考えられます。小さな積み重ねが会員募集に繋がると信じて行動しています。

- ① 活動の心構えとして、無理に参加を求めない。
 - ② 玄関のチャイムを鳴らしての家庭訪問募集は慎む。
 - ③ 頑張らない。
- を合言葉に会員を増やす努力をしております。

Ⅲ まとめ

楽しくなければ老人会会員は増えません。寒い時、火の点いていないストーブでも笑顔溢れる明るい話声が聞こえてくれば人が集まってきました。この様に、老人会活動を何か楽しそうだから、と「覗いて見ようか」「参加してみようか」と自ら思う気持ちを育てることが大事だと考えられます。

これからも、自然と仲間が増える「奇抜なアイデア」を取り入れた「会員募集に一歩踏み出し」老いを感じるわが身を鼓舞。楽しい老人会活動を続けたいと

思います。

興味のある方は「情報交換」

お待ちしております。

*活動場所

久留米市高齢者と子どもの交流施設

成果の見えない努力もあるが無駄な努力はない

目先の結果を求めた努力よりも素直に生きる努力の継続が大事

馬場老人クラブ活動報告



久留米市老人クラブ連合会

城島町老人クラブ連合会

馬場老人クラブ会長

永松 司

私たち馬場老人クラブが属し

ている城島町老連は、久留米市の南西に位置し、隣に大川市、筑後川の対岸に佐賀市をひかえています。筑後平野の肥沃な土地と清流に恵まれ、そこで収穫される美味しいお米で日本一の清酒が作られ繁盛しました。

また、和傘の名産地で大分県の日田方面よりイカダで流した竹で、番傘、蛇の目傘を百件ほどの家内作業で制作し、生計を立てていました。さらには、千六百年頃より堤防に添う五十件ほどの城島瓦工場は、地域産業振興に貢献してきました。私たちが幼少の頃は、筑紫次郎の清流に身を清め、夏休みはよく「水泳、フナ取り、ウナギ取り、シミ取り」に熱中しました。

さて、今年度、私たち馬場老人クラブは、四月一日に約七十世帯の馬場地区会員八十七名で、翌二日には役員会八名でスタートしました。各役員さんにも恵まれ、会長、副会長、会計さんたちと団結して皆仲良く和気あいあいと諸行事に取り組んでいます。

馬場老人クラブの年間行事は「役員会や総会などの会議、清掃活動、花壇植栽、見守り活動、グラウンドゴルフの練習、健康教室と研修セミナー」となっています。

また、グラウンドゴルフの練習は、土・日曜日を除いて毎日行っています。雨天時は、運動や交流活動を行い、寝たきり・認知症予防となるよう頑張っています。

四月二十四日は晴天に恵まれ、午前中は馬場お宮の清掃と花壇の植栽を終え、約七十名で記念撮影をした後、お弁当を配布しました。新型コロナ禍三年目の九月には、公民館において約十名のメンバーで市主催の口腔ケアセミナーを予定していましたが、新型コロナ禍が収まるまで延期しました。

また、九月末には城島町主催の老人クラブによるグラウンドゴルフ大会に参加しました。総勢百名中、私たち老人クラブは十一名が好成績でお砂糖の景品をいただきました。

少子高齢化は避けがたく色々悩みを抱えています。団塊世代が高齢化し、その割合はピークを迎え、少子化の波はひたひたと田舎暮らしを直撃しています。独居、または二人家族が殆どで老人会の活動が頼りです。このため、寝たきりや認知症予防の健康セミナー、ウォーキング、グラウンドゴルフを計画し、実施したいと考えています。

日頃の地道な取り組みが人生百年時代を明るく、楽しく生きる黄金の方法だと確信します。苦労話、悩み事、老人会復活に関する話等、懇談会の折に会員の皆さんとお話したいと思えます。

今後、戦争のない平和な世界の実現、少子化の解消、一人ひとりの健康と幸せ、そして馬場老人クラブの繁栄を願って、努力を重ねていきたいと思っております。



嘉麻市老人クラブ連合 会確井支部会員増強の 取り組み



嘉麻市老人クラブ連合会
確井支部 支部長 中島 政美

私が支部長を務める嘉麻市老人クラブ連合会確井支部では、この度、令和四年度会員増強運動における会長表彰を四単位クラブが受賞することができました。各クラブの会長を始め、会員一同たいへん光栄に思っております。

老人クラブ数や会員数が全国的に減少している昨今、私たちの地域での会員増加に至った経緯などについて、紹介したいと思います。

ここ数年嘉麻市内は、コミュニティ意識の希薄さから行政区

から離脱をされる方々があり、共同意識の低下が見えてきました。そのため、老人クラブへの加入要請を行うことも難しい状況となり、要請に行くにあれこれ理由をつけ加入を先送りする対象者が多くなっています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響等も加わって、勧誘のための訪問活動など全くできなくなり、会員増強運動も進まない状況がここ数年続いてきました。

しかし、異常気象(台風・集中豪雨等)が増加する状況の中で、このままでは何か災害が発生しても私たちの地域は住民の生命や財産を守ることができなくなるのではとの危機意識が高まりました。そのため、各種団体(行政区・消防団・民生委員・老人クラブ他)が連携して自主防災組織を作ることとなり、災害時の声かけ運動などを共同して始めたことで、住民間に仲間意識が生まれ、これが老人クラブ会員増強にも貢献することとなりました。

クラブの会長を筆頭に役員で未加入者の名簿を作成し、何度も訪問して「飲みにケーション」やお茶飲み会などを行い、粘り強く勧誘を行うことができたのは自主防災組織での団体の活動が大きな要因だと考えます。

そして、その粘り強い勧誘を行ったことで、勧誘を受ける人のことがだんだんと分かってきました。加入者にとっては、どんなクラブに加入しようがどのようなクラブであろうが余り関係ないということです。

老人クラブ加入の意思を左右するのは、加入者が何をしたいかということで決定づけられるものであり、クラブの理念などは必要ないと感じました。これまで、勧誘に際してはクラブの趣旨説明などが主であり、加入する会員にとって何が一番幸せで何を求めているのかが見えていませんでした。会員はクラブで行うことができる身近な事業や仲間と一緒に楽しめる事業が何より心地良いものという事が解り、これこそが老人クラブ加

入要請での説得の「カギ」だと確信しました。

これまで、クラブで行う会員の健康づくりや福祉(相互支援)での活動内容を説明しても加入にはつながらず、対象者にとっては、老人クラブに加入した時心地よいものでなければならぬものであることが、重要な加入の視点になるものと確信しています。つまり、会員増員に結びつくのは、クラブ云々ではなく会員にとって何が一番楽しいかであり、老人クラブづくりが地域のコミュニティづくりにも繋がるものと考えます。

これからも一人でも多くの対象者への声かけを行い、楽しい老人クラブを認知してもらおうことが会員増強へ繋がるものと考えています。老人クラブをもっと身近にするために、誰もが加入したくなるクラブづくりを行っていきます。



表彰 (敬省略)

老人クラブ活動の功績を顕彰し、次の会員及び団体が表彰を受けられました。心からお祝い申し上げます。

知事表彰



(1) 市郡町村老人クラブ連合会

長又は単位老人クラブ会長の経験を有し、その功績が顕著であり他の模範と認められる者で、その在職期間が令和四年四月一日現在で七年以上であり、かつ、現在も老人クラブの会員である者

田中秀行	筑後市
高橋弘	行橋市
福田忠三	春日市
村山隆一	宗像市
竹若久雄	太宰府市
寺島龍海	福津市
長沢正行	芦屋町
水谷日出男	小竹町
平田輝男	大刀洗町
野中義彦	広川町
末廣恒和	上毛町

(2) 老人クラブの運営が特に優

秀であり、他の模範と認められるクラブ

星野支部高砂会	八女市
---------	-----

知事感謝状



(1) 高齢者相互支援活動員(シ

ルバーホームヘルパー)で、

荒木陽子	大牟田市
今村悦實	久留米市
広津猛	〃
栗林洋子	〃
田中憲司	飯塚市
松本次八郎	柳川市
乗富茂行	〃

地域のひとり暮らし高齢者等の介助援助を行い、その功績が顕著であり他の模範と認められる者で、その従事期間が令和四年四月一日現在で五年以上であり、かつ、現在も活動している者

城戸 健一 太宰府市
古川 美代子 ”
森中 厚子 ”
榎 恵美子 ”
中塚 幹二 ”

**福岡県老人クラブ連合会
創立60周年記念会長特別表彰**

**(1) 市郡町村老人クラブ連合会
会長（10年以上）**

山田 耕 飯塚市
中野 善明 ”
安部 一正 中間市

**(2) 単位老人クラブ会長（15年
以上）**

百田 幸之助 春日市

仲村 和行 大野城市
奥野 フジ子 福津市
木村 松男 久留米市
高橋 公敬 ”
平田 聖司 ”
藤戸 弘英 ”
星加 三四子 ”

山下 勝利 ”
平井 章利 ”
小西 敏博 ”
松崎 重治 八女市
久保田 正 大牟田市
塚本 健一 ”
柿野 誠 柳川市
宮本 明生 みやま市
守田 清彦 飯塚市
藤松 君教 ”
平田 精稔 ”
塚本 カヨ子 ”

松岡 輝昌 嘉麻市
山口 利生 宮若市
國崎 重太 芦屋町
長沢 正行 ”
寺岡 一正 糸田町
米ヶ田 允洋 行橋市

**(3) 高齢者相互支援活動員（15
年以上）**

杉本 仙三 行橋市
松波 義昭 行橋市

県老連会長表彰

【福岡地区】

弓掛 弘達 春日市
萩尾 幸紀 大野城市
山口 淳子 ”
黒木 洋子 ”
千原 洋子 ”
黒原 寅實 宗像市
林田 隆夫 ”
中村 智美 ”
大田 嘉昭 太宰府市
中塚 幹二 ”

栗原 庸二 糸島市
三宅 瑞穂 ”
伊東 岬 古賀市
松島 穂積 ”
徳永 久江 ”
石津 陽一 福津市

【北筑後地区】

井上 達之助 福津市
松原 秀治 ”
井上 英男 ”
下川 久善 那珂川市
潰田 とし子 須恵町
中野 正敏 新宮町
手嶋 尚緒 久山町

三原 勝 久留米市
中垣 福巳 ”
寺崎 英雄 ”
熊本 健治 ”
徳永 和弘 ”
森田 千恵子 ”
土田 七郎 ”
松村 敏治 ”
八尋 義伸 ”
平井 和之 ”
園田 照子 ”
石橋 清一 ”
糸山 貢 ”
竹藤 フジ子 ”
澤水 良巳 ”

城島弘喜	久留米市	堤傳美	柳川市	日野正文	飯塚市	水谷日出男	小竹町
中村修	〃	西田長子	〃	中山敏美	〃	有松幸子	香春町
於保武男	〃	河口節子	〃	市吉孝敏	〃	用松和男	〃
竹内義雄	〃	小宮光吉	〃	杉藤彥雄	〃	江島幹晴	糸田町
近藤喜美恵	〃	倉吉和子	〃	古池幸吉	〃	小林隆敏	川崎町
大塚寿美子	〃	森田由縁	〃	松本逸雄	〃	金高和美	〃
今村美江子	〃	松本次八郎	〃	篠崎繁幸	嘉麻市	後藤保男	行橋市
池田節子	〃	古賀輝衛	〃	瀬戸邦美	〃	中村修	〃
近見泰治	八女市	山田征士	〃	山下知成	〃	中原武雄	〃
平島サトコ	〃	福山隆信	〃	榎野良一	〃	加藤政男	〃
栗山クニカ	〃	関眞喜雄	〃	樋口季雄	中間市	五十川勇夫	〃
大藪律子	〃	江口巧	〃	古瀬篤子	〃	西村正勝	〃
青木重幸	筑後市	富安和治	〃	反田眞喜代	宮若市	吉元健三	〃
眞谷尚生	〃	山口博	〃	高田日出男	〃	長野悦信	〃
永田耕作	〃	鳥巢吹子	〃	有吉明廣	宮若市	戸次勝則	〃
武富泰子	小郡市	池上和明	大川市	黒江辰雄	芦屋町	山内操	〃
竹下英世	〃	古賀政則	〃	新町長文	水巻町	羽廣正純	〃
堀万治	うきは市	古賀角子	〃	坂本孝秀	〃	作前通勝	〃
山崎俊明	広川町	三栗野俊春	みやま市	久良木功	〃	佐田秀敏	〃
平城俊作	大刀洗町	中野達夫	大木町	谷口敏一	岡垣町	筒井覚平	吉富町
井上聖基	〃	田中明人	〃	末次稔	〃	亀頭賢剛	上毛町
中島誠	〃	原口篤行	〃	大村信義	〃	〃	〃

【南筑後地区】

【筑豊地区】

【京築地区】

令和 4 年度 「福岡県老人クラブ会員増強運動」 会長表彰・特別賞受賞団体

今年度の会員増強運動表彰は、令和元年度から新たに開始した「会員増強運動」により、令和3年度において、著しい成果のあった市町村老人クラブ連合会及び単位老人クラブを表彰するものです。

皆さん、素晴らしい活動本当にありがとうございました。

I. 会長表彰

(1) 市町村老人クラブ連合会

- ・会員が10人以上純増した市町村老連
※該当なし
- ・新設又は復活、未加入クラブの新規加入又は再加入により単位老人クラブが2クラブ以上純増した市町村老連
※該当なし

(2) 単位老人クラブ

- ・会員数を次の区分に応じて分割し、それぞれに定める割合を乗じて得た人数の合計人数以上の会員が純増した単位老人クラブ。ただし、前年の会員数が20人未満のクラブにあっては、3人以上の純増があった場合に限る。
 - ① 会員50人以下については15%
 - ② 会員51人以上100人以下については10%
 - ③ 会員が101人以上については5%

【福岡地区】

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	増加数 R3→R4	増加率 (%)
1	朝倉市	甘木支部	第十千鶴会	15人 55→70	27%
2			西福光	4人 15→19	27%
3	春日市	杷木支部	東林田悠悠クラブ	14人 55→69	25%
4			丸三会クラブ	11人 19→30	58%
5	春日市		紅葉ヶ丘シニアクラブ 紅葉会	10人 60→70	17%
6	福津市		花見3・4区 シニアクラブ	4人 26→30	15%
7			東町二区シニアクラブ	9人 65→74	14%
8			宮司浜シニアクラブ 浜友会	6人 34→40	18%
9	那珂川市		末広シニアクラブ	10人 23→33	43%
10			シニア西畑豊寿会クラブ	5人 28→33	18%
11			松木老人会クラブ松寿会	7人 16→23	44%

【北筑後地区】

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	増加数 R3→R4	増加率 (%)
1	久留米市		第三長寿会老人クラブ	14人 37→51	38%
2			南寿会老人クラブ	28人 53→81	53%
3			下川原クラブ	14人 85→99	16%
4			団地キロハナクラブ	4人 20→24	20%
5	八女市	上陽支部	栗林	4人 20→24	20%
6		星野支部	寿会	4人 21→25	19%
7	うきは市		妹川長寿会	6人 33→39	18%
8			小塩第3区老人クラブ	20人 35→55	57%
9			千年第5クラブ	12人 24→36	50%



【南筑後地区】

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	増加数 R3→R4	増加率 (%)
1	大牟田市		日懸老人クラブ	5人 32→37	16%
2			高泉白ゆりクラブ	5人 30→35	17%

【京築地区】

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	増加数 R3→R4	増加率 (%)
1	行橋市		下 稗 田 2	23人 91→114	25%

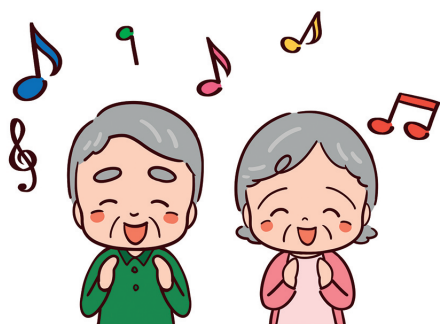
【筑豊地区】

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	増加数 R3→R4	増加率 (%)
1	飯塚市	飯塚支部	庄 司 新 生 会	7人 38→45	18%
2		穂波支部	朋 寿 会	5人 11→16	45%
3		筑穂支部	平 塚 老 人 ク ラ ブ	6人 35→41	17%
4	嘉麻市	碓井支部	上白井東老人クラブ	14人 67→81	21%
5			塚 田 老 人 ク ラ ブ	8人 29→37	28%
6			下白井西上老人クラブ	8人 15→23	53%
7		下白井西下老人クラブ	7人 15→22	47%	
8	嘉穂支部		東馬見老人クラブ	6人 32→38	19%
9	中間市		あゆみクラブ	3人 19→22	16%
10	水巻町		と き わ 会	3人 19→22	16%
11			宮尾台シニアの会	10人 43→53	23%
12			鷹 見 会	7人 36→43	19%
13	小竹町		勝 野 二 区 寿 会	8人 30→38	27%
14	香春町		一本松老人クラブ	3人 12→15	25%
15	赤村		山 浦 老 人 ク ラ ブ	4人 18→22	22%

II. 特別賞

- ① 未設置地域に新設された単位老人クラブ
- ② 休会・解散状態から復活した単位老人クラブ

No.	老連名	支部名	単位老人クラブ名	新設・復活	令和4年4月 会員数
1	宇美町		早 見 早 寿 会	復活	32人
2	新宮町		ファーネスト新宮 シニアクラブ	新設	11人
3	久留米市		川南老人クラブ	新設	87人
4			第 3 4 長 生 会	新設	14人
5			田主丸町健康いきいき 老人クラブ	新設	22人
6			馬場老人クラブ	復活	78人
7	八女市	八女支部	八女レジェンドクラブ	新設	8人
8		上陽支部	上陽GGクラブ	新設	12人
9		立花支部	西原老人会	新設	13人





指定旅館をご存知ですか？

指定旅館は、老人クラブ会員の皆さんが会員相互の親睦を図る場として、老人クラブ会員限定のサービスの提供が可能な施設をご案内する福岡県老連の福利厚生事業です。研修旅行や家族旅行の際にご利用いただくために、毎年度全ての指定旅館を掲載した「指定旅館のご案内」（カラー印刷30ページ程度）の冊子を全部の単位老人クラブに配布しています。

○個人情報保護法との関連

- ・指定旅館と福岡県老連は、福利厚生事業のため福岡県老人クラブ名簿を共同利用しています。
- ・「指定旅館のご案内」の末尾に指定旅館の個人情報管理責任者の氏名を記載しています。この情報管理者の責任において、転写の禁止・情報漏えいの防止など個人情報を管理しています。

※・申込みの際に、福岡県老人クラブ連合会会員（単位老人クラブ名等）であることを伝えてください。

- ・指定旅館からの賛助収益は、県老連の事業を実施するための大きな財源となっております。積極的にご利用いただきますようお願いします。
- ・2021年度の指定旅館から退会された旅館・ホテルがありますので、「2022年度指定旅館のご案内」をよくご確認ください。

指定旅館の利用手続き

1. 直接、「指定旅館」へ電話し、まず、次のことを伝えてください。

- ①「福岡県老人クラブ連合会」の会員であること（必須）
- ②市町村名、単位老人クラブ名、申し込み代表者名・連絡先
- ③利用日時（宿泊か日帰りか）、利用人数（男性○人、女性△人）
- ④希望するプランまたは予算（食事は2食か、3食か、4食か）
- ⑤グラウンドゴルフ場、会議・研修室、送迎などの特別な希望
- ⑥（必要に応じて）見積書を送ってもらえるかどうか




2. 指定旅館側の説明（見積書）を確認し、申込み時には、次の点にご留意ください。

- ①見積書（特別な希望の費用を含む）が、予算や想定額の範囲内かどうか
- ②特別な希望に、伝えもれがなかったかどうか
- ③人数変更やキャンセルを申し出る際の条件（申し出期間およびキャンセル料の割合）

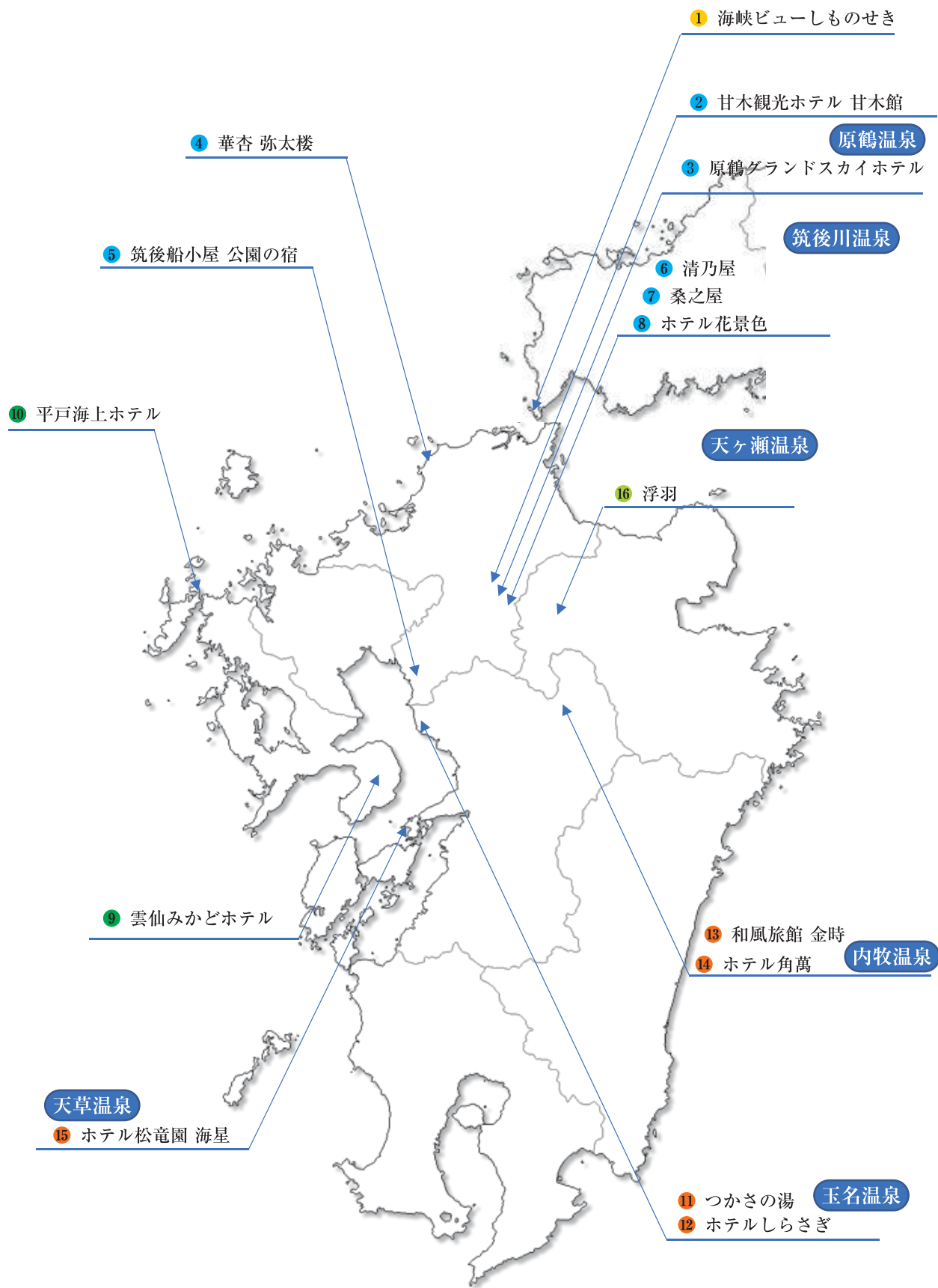
3. 送迎バスの利用については、指定旅館側の説明を丁寧に聞き、無理な要求をしないようにしてください。（道路運送法上の規制・制限があります）

2022年度 指定旅館

県名	指定旅館名	住所	電話番号 FAX番号
山口	 下関市国民宿舎 海峡ビューしものせき Kaikyo View Shimonoseki	751-0813 山口県下関市みすみ川町3-58	083-229-0117 083-229-0114
福岡	 甘木館	838-0068 福岡県朝倉市甘木2091	0946-22-3344 0946-24-1067
	 原鶴温泉 原鶴グランドスカイホテル	838-1514 福岡県朝倉市杷木久喜宮1820-1	0946-62-1951 0946-62-3063
	夕日の見える割烹宿 華杏弥太楼	811-3521 福岡県福津市勝浦530-2	0940-62-3282 0940-62-3941
	筑後船小屋 国民宿舎 公園の宿	833-0015 福岡県筑後市津島2108-1	0942-42-1126 0942-42-1125
	自家源泉かけ流しの宿 筑後川温泉 清乃屋 ミシュランガイド掲載	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-3	0943-77-2188 0943-77-3270
	温泉、料理、観光と笑顔でおもてなしの宿 筑後川温泉 川畔のお宿 桑之屋	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-10	0943-77-2148 0943-77-2700
	 花鳥色	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1097-1	0943-77-2110 0943-77-2079
長崎	 雲仙みかどホテル UNZEN MIKADO HOTEL	859-1501 長崎県南島原市深江町甲5292-2	0957-72-5420 0957-72-7710
	 平戸海上ホテル	859-5102 長崎県平戸市大久保町2231-3	0950-22-3800 0950-23-2829
熊本	 玉名温泉 つかさの湯	865-0061 熊本県玉名市立願寺東段656-1	0968-72-7777 0968-72-7783
	 玉名温泉 しらさぎホテル	865-0016 熊本県玉名市岩崎730	0968-72-2100 0968-73-8445
	雄大な阿蘇山の懐に抱かれた 内牧温泉 和風旅館 金時	869-2301 熊本県阿蘇市内牧1131	0967-32-0038 0967-32-3975
	 阿蘇内牧温泉 ホテル角萬	869-2301 熊本県阿蘇市内牧1095-1	0967-32-0615 0967-32-0214
	 玉名温泉 海星 ホテル松竜園	869-3602 熊本県上天草市大矢野町上6494	0964-56-0348 0964-56-5050
大分	瀬音・湯音の宿 浮羽	879-4202 大分県日田市天瀬町赤岩3-5	0973-57-3171 0973-57-3173

 2022年度は、3つの旅館(雲仙みかどホテル・平戸海上ホテル・ホテル角萬)が新しく指定旅館に加わりました!

指定旅館位置図



いきいき活動を
支える

老人クラブ会員向けに **傷害保険・賠償責任保険** で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
 - ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
 - ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
- 〈資料請求受付期間〉【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで
【賠償責任保険】随時受付中

2022年10月始期 2023年 4月始期版 **傷害保険** 〈掛金・補償内容〉

自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。
一部のタイプでは特定感染症に感染した場合や、他人の物を壊したり、他人にケガをさせた場合*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません(複数口加入はできません)。*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

①保険始期月 および保険期間	保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
	2022年10月	2022年7月15日～9月15日まで	2022年10月1日午後4時から1年間
	2023年4月	2023年1月15日～3月15日まで	2023年4月1日午後4時から1年間

②掛金内容・補償内容〔下記◆重要◆と併せてご確認ください〕

タイプ 補償内容 (保険金額)	補償充実 24時間型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)・クラブ活動中以外を問わず 日常生活全般(24時間)のケガを補償します。 【補償額】上段:活動中のケガの補償額 下段:(活動中以外のケガの補償額)				活動型 クラブ活動中(往復途上(注1)を含む)の ケガを補償します。		
	掛金	12,000円/年	8,000円/年	5,000円/年	3,500円/年	1,000円/年	500円/年
A 死亡保険金(注2) (事故から180日以内)		352万円 (182万円)	208万円 (123万円)	189万円 (104万円)	119万円 (74万円)	85万円	45万円
B 後遺障害保険金(注2) (事故から180日以内)		352万円 (182万円)	208万円 (123万円)	189万円 (104万円)	119万円 (74万円)	85万円	45万円
C 入院保険金日額(注3) (事故から180日以内、30日限度)		6,300円 (2,300円)	3,200円 (1,200円)	3,050円 (1,050円)	1,800円 (800円)	2,000円	1,000円
D 通院保険金日額 (事故から180日以内、30日限度)		3,700円 (1,100円)	2,050円 (750円)	1,950円 (650円)	1,150円 (500円)	1,300円	650円
特定感染症危険補償 (新型コロナウイルス感染症含む)(注4) (始期日から10日間は免責)		対象となる保険金 B C D (注5) (A死亡保険金は対象外です)					

個人賠償責任補償 (自転車事故も含む)(注6)	1億円限度
地震・噴火・津波 危険補償	対象となる保険金 A B C D (注5)
熱中症危険補償	対象となる保険金 A B C D (注5)

③【クラブ活動中とは】

- (1)「所属する単位クラブが予め計画・実施する活動」および
- (2)「市区町村(地区・校区)から全国までの各連合会が主催する活動イベント」ならびに
- (3)「老人クラブ関係者として他団体の活動」への参加・往復途上を含みます。
- (4)事故証明者:単位クラブ関係者、参加した主催老連関係者

◆重要◆

- (注1)往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、クラブ活動場所までの通常経路を指します。
- (注2)死亡保険金と後遺障害保険金をどちらも請求する場合、いずれかの補償額が上限となります。(例:すでに支払った後遺障害保険金がある場合の死亡保険金は、すでに支払った金額を控除した残額となります)後遺障害の程度に応じて、後遺障害保険金の4%~100%が支払われます。
- (注3)手術保険金として、入院中は入院保険金日額の10倍、外来(入院中以外)は5倍がお支払対象となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。
- (注4)特定感染症危険補償特約。2022年2月現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項第3号に規定されていますので、補償対象となります。特定感染症を発病した場合に、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金について(除く死亡保険金、手術保険金)補償の対象となります。
- (注5)特定感染症、地震・噴火・津波危険補償、熱中症危険補償はクラブ活動中・活動以外を問わず24時間対象ですが、補償額はA死亡保険金(除く特定感染症補償)、B後遺障害保険金、C入院保険金日額、D通院保険金日額の下段()内の補償額(活動中以外の補償額)となります。
- (注6)1事故について1億円を限度に保険金をお支払いします。自動車等を運転中に生じた事故については対象外となります。

賠償責任保険 〈掛金・補償内容〉

他人の物を壊したり、ケガをさせた時*1の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象: 単位老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間: 毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③ 掛 金: 1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補 償: 支払限度額1億円

*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。



公益財団法人 **全国老人クラブ連合会** 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

受付時間 9:30から12:00まで(土、日、祝祭日、年末年始除外)
13:00から17:00まで

加入申込書等、
資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先
ご相談

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 老人クラブ保険 検索 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】
老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・
総合生活保険(傷害補償)

【老人クラブ団体賠償責任保険】
施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。